

平成8年3月15日発行



各務原市社会福祉協議会  
陵南連合支部

# 今こそ大切 ひとりひとりの福祉の心

社会福祉協議会陵南連合支部長  
山本 喜久男

昨年四月、平成七年度の出発にあたり、社会福祉協議会陵南連合支部長をおおせつかりましたから、もう一年になりました。この一年間を振り返ってみると、無事その任務を果せましたことは、会員皆様方の大いなご支援のたまものと、心からお礼申し上げます。

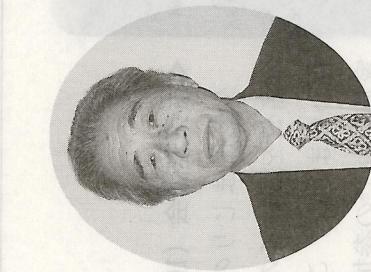
また、直接ご指導、ご協力いただきました理事・監事・評議員の皆様には、格別のお世話をかけましたこ

とをあわせて、お礼申し上げます。

さて、この一年、福祉の大切さが、大きく人々の心にうかんだ年でした。

阪神大震災によるあまりにもひどい状況の中で、多くの人々がボランティア活動を続けられました。また多くの義援金があるは物質がよせられ、被災された方々に贈られました。

この、何ら報酬を期待しない、ただ、ただ被災された方々ためにささげられた善意こそ、福祉の基となる



半身不随を想定して、車イスからベットへの介助方法を学ぶ参加者ら。  
地域介護講習会（10月12日）

精神であろうと思います。

こうした状況を、わたしたちの町、陵南校区に重ね合わせますとき、いかがでしょうか。

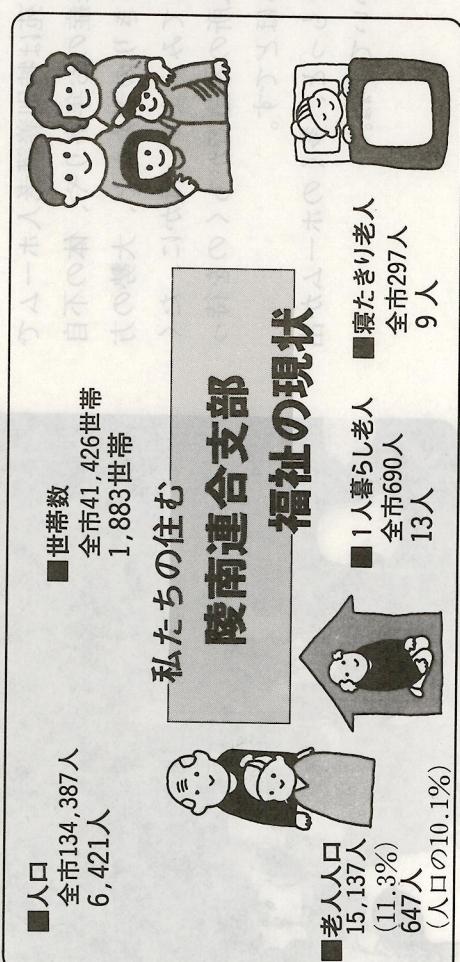
阪神大震災のように極端に大勢の方々ではございませんが、病気で身体の不自由な方、痴呆のために誰かの看護を必要とされる方、また、家庭の事情等により、ひとり暮らしをよぎなくされたお年寄りの方、不幸な身の上の子どもたちなど、私たちが手を差しのべてあげなければならぬ方が、かなりおみえになります。また、こうした方々の看護や心の支えが、家族の方々など、個人の肩に大きくのしかかって、家族の方々の生活を圧迫している例も、いくつかございます。

こうした課題は、単に私たちの善意だけで支え切れるものではありません。行政の当局である各務原市も、老人ホーム、特別養護老人ホーム、あるいは在宅看護施設等の公的機関を作っていますが、まだまだ不十分な状況です。

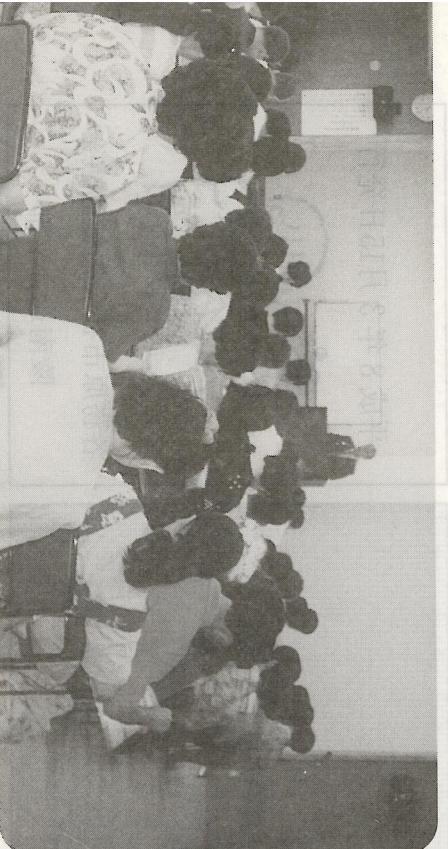
今こそ、市民ひとりひとりが、福いちゃんと福祉行政に力を注いでもらいたいものだと思います。



陵南小学校の児童が特別養護老人ホームつじ苑を訪問（8月18日）



# 心ふれあう会をめぐじて



「社協福祉協議会」って、どんな活動をする団体なのか、一世帯500円・1000円と集めたお金はどう使われるのか、その説明会が陵南福祉センターで朝日町の全班長さんを集めて開かれました。お年寄りや子ども、弱い立場の方々に光を当てようと活動している様子を、理解してもらいました。

## 活動を展開 (下期の事業)

### ▲地域介護講習会（10月12日）

「だれか病人になって下さい。」病人になつた人はうでに白い三角布、足もしづり、いすにすわります。「みんなで、病人を車いすにのせて下さい。」どうしたら楽に車いすに移せるか頭をつかいます。看護の仕方、身体の動かし方など、保健婦さんからていねいに教えてもらいました。



### ▲市民運動会（10月8日）

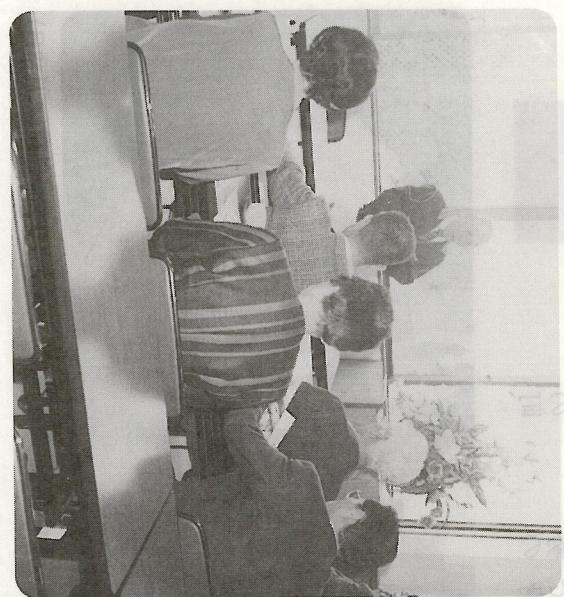
少し雨まじりの校庭は、町内の名前をかけての種目が次々と行われました。この日ばかりは家族づれでの参加です。

お父さんの出番がすむと、次は子どもたちのパン食い競争です。お母さんもおばあちゃんも手をたたいての大声援です。たのしい秋の一日でした。

### （日立見）会員講習会

### ▼親子ふれ合い映画会（7月17日）

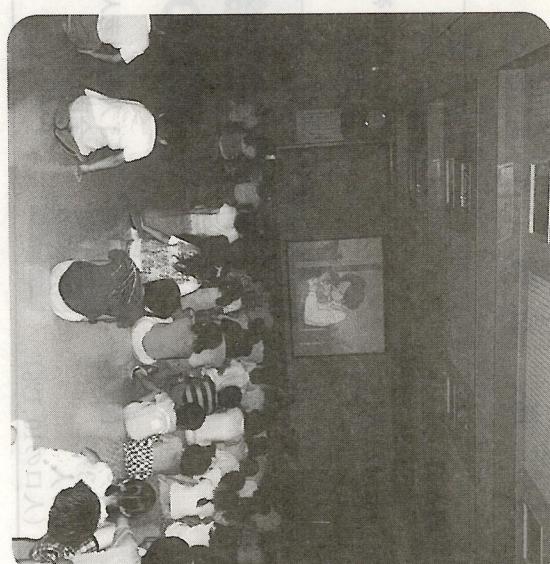
親子ふれ合い映画会を催しました。映画はアニメの「ヘレンケラー物語」です。子どもたちや親さんなど、100名余の方々が観て下さいました。しっかりと画面に食い入るようにみていた子は、終了すると大きくな拍手をしていました。



### ▲特別養護老人ホームつつじ苑に役員研修（11月4日）

つつじ苑は特別養護老人ホームです。痴呆症のお年寄りや、体の不由な寝たきりの老人など、大勢の方が入所してみえます。ほかに、たくさんの方の入所の希望者があくのを待つてみえるほどです。

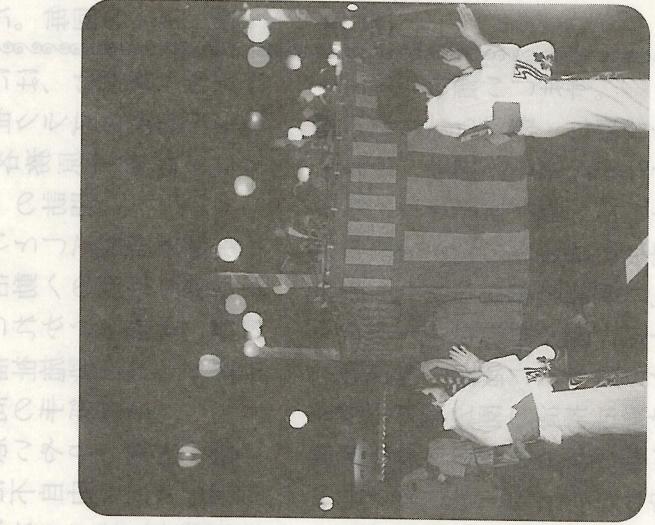
もっともと、多くのホームが出来るといいですね。





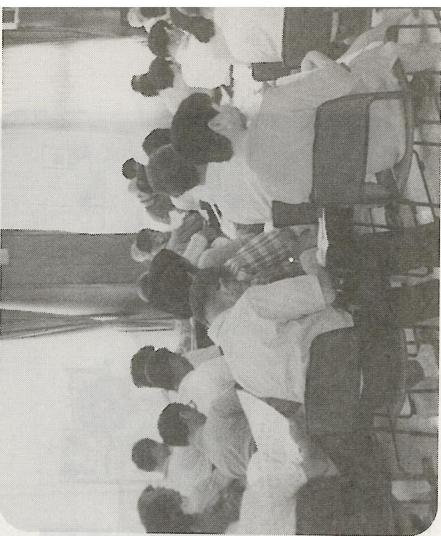
▲支部社協会員募集説明会（7月16日）

▲陵南福祉センター横に完成した福祉啓発塔



▲朝日町盆おどり大会（8月5日、6日）

朝日町の盆おどりは行われました。のべ千人をこえる人々が、夜店によつたり、踊りの輪に加わつたり楽しみました。夜おそくまで太鼓の音がひきわたりました。



▲支部社協会員募集説明会（7月16日）

▲陵南福祉センター横に完成した福祉啓発塔

# こんな福祉



▲はじめ縄飾りにチャレンジ！（12月2日）

祖父母・父母・父母・おじいちゃん、おばあちゃんです。わらでしめ縄をつくり、赤いエビを作り、しでをつけると、りっぱなしまれ縄です。悪戦苦闘、ようやく自分でつくった時は、満足気でいっぱいのようでした。

「今年は家の玄関にこれをかざろう。」と、得意気な顔がいっぱいでした。



▲6月2日と12月24日の2回

寝たきり老人・独居老人・高令者世帯の慰問に行つきました。おみやげを持って、小学生の手紙を持つて訪問すると、とても喜ばれ、特に小学生の手紙はしつかり持つて、自分の名前が書いてあると喜んでみました。写真は、出かける前に、おみやげといっしょに撮りました。

陵南支部だより

(4)

ਜੀਤੇ ਸੀ ਹੈ ਪੁਲ੍ਹ ਪਾਰਿ ਜਾਂਦੇ ਹਨ ਵੱਡੇ ਪ੍ਰਸ਼ੰਸਕ ਮਨੁਸ਼ੀਆਂ

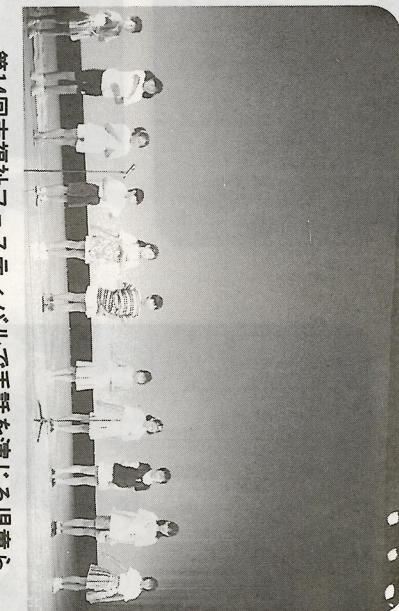


# 点字の活動について

筆で「一」は「と書くべき、点字では「一」をはおと打ちます。その他へはオ段でのびるものは、長音符を使います。それが、鉛筆で書く字で、ウ段と間の空け方です。それは、二学期に入ったら、本を作ることになります。どこで開けたらいいのか迷ってします私が、今までまちがえやすのは、うので難しいです。私は目が見えるけど見えない人は、いろいろと覚えないといけないのです。これからもしよつ害をもつている人は、ややしく、親切にしてあげたいく思います。

## 編集後記

この一年間、誠にありがとうございました。陵南校区の福祉事業、福祉の心がますます盛んになりました。「住みよい町、安心して暮らせる町」として発展しますになり、「住みよい町、安心して暮らせる町」を中心として活動します。これまでの心からお礼申し上げます。



第14回市福祉フェスティバルで手話を演じる児童（9月10日、文化ホール）

点字に挑戦

この一年間、誠にありがとうございました。  
この「住みよい町」として発展します  
おされ申上ります。